

第5回まるごと多摩川まつり

第50回多摩川流域セミナー

～探検！河川防災ステーション ポウサイマスターをめざせ！～

開催報告

1. 概要

○日程：2018年2月17日（土）9:30～15:30

○場所：大師河原河川防災ステーション

○主催：多摩川流域懇談会

共催：NPO 法人多摩川干潟ネットワーク

協力：川崎市臨港消防団、川崎市建設青年会、川崎マリーナロータリークラブ

表1 「第5回まるごと多摩川まつり」プログラム一覧

項目	時間	場所	参加者数（概算）
記念植樹イベント	9:30～9:45	・大師河原河川防災ステーション	計 300名（概算） スタンプラリー：212名 セミナー第1部：47名 セミナー第2部：32名 凧づくり教室：18名
第50回多摩川流域セミナー	第1部 10:00～12:00 第2部 15:15～15:30	・大師河原水防センター 2F	
凧づくり教室	13:00～14:30	・大師河原水防センター 2F	
防災炊き出し	11:40～	・大師河原水防センター前	
スタンプラリー・防災体験	10:00～15:00	・大師河原河川防災ステーション	
未来の多摩川夢プランづくり・パネル展示	10:00～15:00	・大師河原水防センター 防災倉庫	



図1 「第5回まるごと多摩川まつり」タイムスケジュール

※当日は昼から強風が吹き荒れたため、安全のため予定を早めて大部分のイベントを15:00に終了しました。

2. プログラム

記念植樹イベント

- 司会：阿部 里菜 氏（京浜河川事務所）
- 挨拶：神谷 博 氏（多摩川流域懇談会運営委員長）、萩原 茂 氏（川崎市建設緑政局緑政部長）、佐川麻里子 氏（特定非営利法人 多摩川干潟ネットワーク理事長）、服部 敦 氏（京浜河川事務所長）
- 植樹：上記 4 名＋子どもたち

第 50 回多摩川流域セミナー（第 1 部：「お天気お兄さん・お姉さんの防災教室」）

- 司会：高橋 靖 氏（京浜河川事務所）
- 挨拶：神谷 博 氏（多摩川流域懇談会運営委員長）
- 講義、実験：くぼ てんき 氏、池田 未来 氏（NPO 法人 気象キャスターネットワーク）

第 50 回多摩川流域セミナー（第 2 部：「目撃！多摩川の洪水」）

- 司会：高橋 靖 氏（京浜河川事務所）
- 講義：柳澤 亘 氏（京浜河川事務所）

凧つくり教室

- 凧つくり指導：NPO 法人 多摩川干潟ネットワーク

防災炊き出し

- 多摩川鍋、アルファ米：多摩川流域懇談会
- やきそば：川崎マリーンロータリークラブ

防災体験（車両展示）

- 排水ポンプ車：京浜河川事務所
- 照明車：京浜河川事務所
- 地震体験車：川崎市臨港消防団
- ミニショベルカー：川崎市建設青年会

防災体験（体験イベント）

- 煙体験ハウス：川崎市臨港消防団
- 水消火器体験：川崎市臨港消防団
- ちびっこ消防服体験：川崎市臨港消防団
- 太助と記念撮影：川崎市臨港消防団
- ロープワーク体験：NPO 法人 多摩川干潟ネットワーク

未来の多摩川夢プランづくり・パネル展示

- 展示・クイズ：亜細亜大学 チーム「Egret」、多摩川流域懇談会

スタンプラリー

- 運営：多摩川流域懇談会

3. 記念植樹イベント

大師河原干潟館の開館 10 周年を記念し、マツの記念植樹を行いました。

京浜河川事務所の阿部さんの司会のもと、多摩川流域懇談会運営委員長の神谷さん、川崎市建設緑政局緑政部長の萩原さん、特定非営利法人 多摩川干潟ネットワーク理事長の佐川さん、京浜河川事務所長の服部さんからそれぞれご挨拶をいただき、マツの根元に土をかけていただきました。

続いて、大師河原干潟館の常連の子ども達も参加し、賑やかな植樹イベントとなりました。

なお、植樹は 10 年前の開館時に植えられたマツのすぐ隣で行われました。10 歳年上のお兄ちゃんマツと、今回植えられた弟マツ、それぞれの成長が楽しみです。



神谷氏



萩原氏



佐川氏



服部氏



子どもたちの植樹の様子



10 年前（干潟館開館時）の植樹の様子

4. 第 50 回多摩川流域セミナー

4.1 第 1 部：「お天気お兄さん・お姉さんの防災教室」

テレビで活躍するお天気キャスターのお二人に、子供向けの天気・防災教室を開催していただきました。50 名近くもの親子が参加し、クイズや実験、工作を通じて、雲や雷、温暖化などについて解説を行い、子どもたちは楽しく天気や防災について学ぶことができました。



くぼてんき さん

プロフィール：
気象予報士、防災士、こども環境管理士、紙芝居師、東京都認定大道芸人（ヘブンアーティスト）
2016 年春からテレビ神奈川で気象情報を担当。



池田未来 さん

プロフィール：
気象予報士、防災士、星空案内人
千葉テレビ「シャキット！」平日（月～金）朝 6：45～8：00 出演中。7時 30 分からはテレビ神奈川、テレビ埼玉でも放送。



解説「雷のときはどうすればいい？」



解説「2100年あすの最高気温 (温暖化)」



気象クイズ「この雲の名前は？」



防災クイズ「大きな災害をしらせるのは？」



実験「風で電気を起こしてみよう！」



実験「竜巻をつくってみよう！」



実験「雲をつくってみよう！」



工作「綿で雲図鑑をつくらう！」

4.2 第2部：「目撃！多摩川の洪水」

京浜河川事務所 地域防災調整官の柳澤さんから、昨年の多摩川の洪水での増水の状況や、昭和 49 年に多摩川で大きな被害を出した狛江水害の当時の写真、平成 27 年洪水による鬼怒川の堤防決壊の様子などを映像で紹介いただきました。

参加した方は、会場で提供されたおしるこやココアなどを飲みながら耳を傾けており、リラックスした雰囲気での講演となりました。



柳澤氏



講演の様子

5. 凧づくり教室

だいし水辺の楽校（NPO 法人 多摩川干潟ネットワーク）の定例イベントの凧づくり教室を、今回はまるごと多摩川まつりとのコラボレーションで行いました。

子ども達は、ビニール袋に思い思いのイラストを描いて、竹ひごの骨組みに貼り付け、オリジナルの手づくり凧を作りあげました。

凧を作ったら、すぐに外に飛び出して、上手に風に乗せて天高く揚げていました。



凧作りの様子



凧揚げする子ども達

6. 防災炊き出し

災害時の防災食を想定した炊き出しを行いました。

多摩川流域懇談会からは、アユの出し汁が香る「多摩川鍋」と、お湯で戻す乾燥米「アルファ米」を提供しました。また、川崎マリーナロータリークラブからは、「焼きそば」の提供があり、参加者のお腹を満たしました。



防災炊き出しの様子

7. 防災体験

7.1 車両展示

国土交通省京浜河川事務所から「排水ポンプ車」、「照明車」が、川崎市臨港消防団による「地震体験車」、川崎市建設青年会による「ミニショベルカー」が会場に集まりました。

「排水ポンプ車」は、洪水で街が水に浸かったときなど、現場に急行してポンプで水を汲み上げて排水することができます。

「照明車」は、強力な照明装置を備えており、夜間の災害復旧などで現場を明るく照らし、作業をサポートします。その明るさは、50m離れたところでも新聞の文字が読めるほどです。

「地震体験車」は、さまざまな揺れの大きさ、パターンの地震を体験することができます。大きな震度の場合は、手すりにつかまっていないと、とても立ってられないほどです。

「ミニショベルカー」の展示は、川崎市の地元建設関係団体の青年部会の集まりである川崎市建設青年会によるものです。川崎市建設青年会では各地の災害に備えて「特設作業隊」を編成しており、災害が発生したときは、このようなショベルカーなどの重機を現場に運び、災害復旧などの土木作業のサポートを行います。例えば熊本地震の災害復旧にも参加したことがあります。今回は、ミニショベルカーに特別に試乗させてもらえた子ども達もいました。



排水ポンプ車と照明車



地震体験車



ミニショベルカー

7.2 防災体験

防災のスキル向上をねらった体験として、川崎市臨港消防団による「煙体験ハウス」、「水消火器体験」、「ちびっこ消防服体験」、「太助と記念撮影」、NPO法人 多摩川干潟ネットワークによる「ロープワーク体験」が行われました。

「煙体験ハウス」では、煙が充満したハウスの中を手探りで進み、火災時の煙の怖さを体験しました。

「水消火器体験」では、水が入った消火器を使つて的を狙って放水し、実際の消火器を使う手順について学びました。

「ちびっこ消防服体験」では、子ども達が消防服に身を包んで消防士になりきり、消防車と一緒に記念写真を撮りました。

川崎市消防局イメージキャラクターの「太助」は、会場内を歩き回っていると子供たちが集まってきて大人気の様子でした。

「ロープワーク体験」では、災害時にロープをうまく使うことで重いものを持ち上げたり、場合によっては人も持ち上げることができることを実際に体験し、学びました。



水消火器で的を狙って放水！



煙体験ハウス



太助と子ども達



ロープワークで人を持ち上げ中

8. 未来の多摩川夢プランづくり

多摩川流域セミナーで恒例となっている未来の多摩川夢プランづくりについては、今回は亜細亜大学の皆さんとのコラボレーションにより、これまで行ってきたマップワークと合わせて、『川崎ウォーターフロント△（デルタ）プラン』に関するクイズやパネル展示も行われました。

マップワークでは、多摩川流域の地図を用いて、未来の多摩川に対する夢を書き出してもらいました。子どもたちからは、「ゴミの無いきれいな川になってほしい」「魚がいっぱい釣れる多摩川になってほしい」などの意見が出ていました。



亜細亜大学とのコラボレーション



未来の多摩川夢プランづくり 多摩川への想いを書いて貼っていきます

9. パネル展示

洪水ハザードマップやタイムラインなど、防災に役立つ情報について学べるよう、パネルの展示を行いました。

展示したパネル一覧

- ① 『多摩川流域懇談会』 についての説明
- ② 『大師河原河川防災ステーション』 とは何か、 についての説明
- ③ 『大師河原河川防災ステーション開館時セレモニー』 の様子の紹介
- ④ 『河川防災ステーションの活躍』 について、 他の河川での事例を交えた説明
- ⑤ 『ハザードマップ』 とは何か、 どこで見られるのか、 の説明
- ⑥ 『タイムライン』 とは何か、 の説明
- ⑦ 自分に合ったタイムライン、『マイタイムライン』 の作り方の説明
- ⑧ 『水防災意識社会再構築ビジョン』 とは何か、 の説明
- ⑨ 『川崎市の多摩川での取組』 についての説明



パネル展示の様子

だいがわらかせんぼうさい
大師河原河川防災ステーション
 ことし しゅうねん
 ～今年で 10 周年!!～

洪水や地震などの時に、地域の防災活動の拠点となる施設です！
 洪水や地震などの時に防災活動の拠点として機能する目的で、ヘリポート・防災活動スペース・児童遊園地などを備えた多摩川で初めての施設です。
 平成16年12月に防災副市長と川崎市が長年、協議しました。

災害の時の役割

ふだんのおきの役割

だいがわらかせんぼうさい
「大師河原水防センター」について

愛称は「大師防災ステーション」です！
 大師河原河川防災ステーションの敷地に建てられた本館センターは、水防活動時の機能を備え、災害時には緊急避難の拠点となる予定です。ふだんは多摩川のことを知る、防災意識を高めることができる施設として活用が期待されます。多摩川や防災に関する防災教育資料、展示などもおこなっています。

特撮の色は、右クリック有義の書式設定 から変更可能

タイムライン

「タイム…」って、時間に関係あるもの？
 災害が起きる時に「いつ」「だれが」「何をやるか」のスケジュールをあらかじめ決めておく、いざという時に誰がスムーズに行動できるかという、事前の計画が防災活動の鍵です。
 住居の防犯の観点、例えば災害が起きてから家族が居るその生活、タイムラインによってタイムスケジュールが事前に準備や確認をすることが出来ます。

多摩川で洪水が起きる時のタイムラインはある？
 多摩川沿いの河川堤防が壊れてくると、堤防の崩壊でも、台風による洪水の発生を想定して、下のようなタイムラインが考えられています。あなたの場合はどうでしょうか？

災害発生時	災害発生直後	避難時	避難後
<ul style="list-style-type: none"> 1. 災害発生時 2. 災害発生直後 	<ul style="list-style-type: none"> 3. 避難時 4. 避難後 	<ul style="list-style-type: none"> 5. 避難時 6. 避難後 	<ul style="list-style-type: none"> 7. 避難時 8. 避難後

マイタイムライン

川崎市 多摩川の水災時のタイムライン

入によって、住んでいる場所や家族構成などが異なる、状況が異なることやタイムラインも細かく違ってきます。
 そのため、住居一戸ひとりに合ったタイムライン（マイタイムライン）を家族と相談しながら自分たちで考え、作成して備えたいと思います。

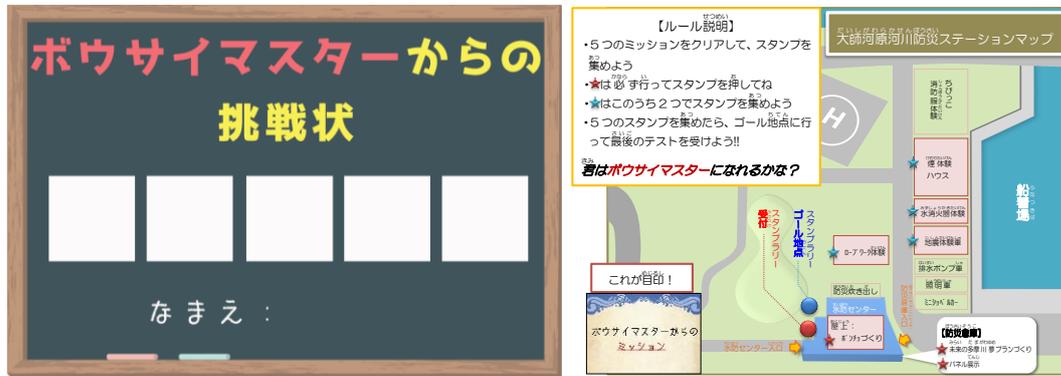
多摩川の防災基金で、避難時の決断に備えたマイタイムラインづくりの勉強会が初めて開催されました。

特撮の色は、右クリック有義の書式設定 から変更可能

展示したパネルの例（大師河原防災ステーション、マイタイムライン）

10. スタンプラリー

スタンプラリーでは、「探検！河川防災ステーション」のイベントタイトルのとおり、河川防災ステーションのあちこちを探検して回って、各所に配置されたミッションをクリアし、スタンプを集めてもらいました。



スタンプラリー台紙（表/裏）

それぞれのミッションは防災に関するもので、クリアしていくと、防災に関する知識やスキルが身についていくというものです。

スタンプラリーの各ミッション

場所	ミッション
水防センター屋上	ごみ袋でポンチョをつくれ！
未来の多摩川夢プランづくり	未来の多摩川夢プランづくりに参加せよ！
パネル展示	展示パネルの中から出されるクイズに答えよ！
煙体験ハウス	煙体験ハウスで避難の仕方を学べ！※
水消火器体験	消火器の使い方を学べ！※
地震体験車	地震体験車に乗って、揺れを体験せよ！※
ロープワーク体験	ロープワークで縄の結び方を学べ！※

※4つのうち2つを選んでクリアすればOK



ごみ袋でポンチョづくり



地震体験車で揺れを体験

スタンプが5つ集まったら、クリアしたミッションのおさらいとなる最終テストを受けて、90点以上の人は、巡視船「けいひん号」の乗船会の抽選権を手に入れました。



スタンプが集まったら…



最終テストを受けて



景品をもらおう！



巡視船けいひん号

11. まとめ

大師河原河川防災ステーションは今年で開館10周年になります。今回は、その記念イベントとして第5回まるごと多摩川まつりが開催されました。主に小学生を対象とし、「防災」をテーマに、通常は入れない水防センターの屋上でイベントを行ったり、多摩川のアユを使った防災炊き出しを行ったりと参加者の方々に楽しんでいただけるように企画しました。

イベントは、多摩川流域懇談会主催のもと、NPO 法人多摩川干潟ネットワークの共催、川崎市臨港消防団、川崎市建設青年会、川崎マリンロータリークラブの協力、亜細亜大学との連携により、様々な催しを実現することが出来ました。

当日は、小学生を中心として、親子で参加していただいた方も多く、スタンプラリーと一緒に楽しんでいる様子も見られました。大変多くの方にご参加していただき、今回のイベントは活気に溢れるものとなりました。



会場の賑わいの様子